

性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム 2021 募集要項

■はじめに

本プログラムは令和元年12月に「職業実践力育成プログラム（BP）」として採択されました。

大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム（BP）」として文部科学大臣が認定。1. 社会人の学び直す選択肢の可視化、2. 大学等におけるプログラムの魅力向上、3. 企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進します。



■文部科学省ウェブサイト：職業実践力育成プログラム（BP）認定制度について

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/

■講座概要

1) 教育目標・概要

SANE プログラムは性暴力被害者の多様なニーズに対するケアを総合的に提供するために、構造化されたプログラムです。米国では、SANE プログラムが定着した病院では司法面接のための環境が整っているため、性暴力被害者が警察に行く必要はなく、性感染症や緊急避妊の処方箋、医師による定期的なコンサルテーションなどが確実に提供されます。司法科学にもとづく臨床医学、法の執行、被害者のアドボケートといった、多様な視点に立ったケアニーズに対応するために実施されている SANE トレーニングは、全米調査では臨床・トレーニングを含めて平均 80 時間（講義 40 時間と臨床・トレーニング 40 時間）と報告されています。講義の内容は、医療的ケア、証拠採取、心理的サポート、患者教育に関する内容が中心です。SANE の活動は高度な専門看護実践なのです。

2) 講義概要および受講を通してえられるもの

別紙「■性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム 2021 シラバス」を参照

3) 受講対象者

- ・性暴力救済センター（なごやなごみ）等で実践予定である看護職
- ・愛知県性犯罪・性暴力被害者支援事業の対象である看護職
- ・本領域に興味を持っている看護職

4) 受講料

本学園関係者、愛知県性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援事業対象者	96,000 円※
上記以外の対象者	106,000 円※

※上記は税込金額です

なお、受講料に加え、講義テキスト「フォレンジック看護（医歯薬出版）」代（3,960 円・税込）が別途必要となります。講義日初回までにお手元にご準備ください。

5) 募集人員：40 名

6) 開講期間：2021 年 10 月 2 日（土）～2022 年 1 月 9 日（日）

→詳細は別紙「講義スケジュール」参照

7) 実施形態：Zoom を介したオンライン講義および対面講義（10 月 30 日のみ対面）

8) 講義実施にあたり

①Zoom を介したオンライン講義

パソコン（推奨）、タブレットをご準備ください（Zoom アプリのインストールが必須）。詳細は受講決定後に配布する「受講の手引き」をご確認ください。なお、現状把握のため、別紙「通信環境に関するアンケート（提出必須）」に回答いただき提出をお願いいたします。

（参考）推奨環境

◆PC

Windows8 以降（IE11 以降 各最新版、Google Chrome 最新版を推奨）

MacOS 10.7 以降（Safari 最新版を推奨）

◆モバイル（タブレット）

iOS10 以降（Safari 最新版を推奨）／Android5 以上（Google Chrome 最新版を推奨）

※利用するテンプレート、動画や PDF などの形式によって、必要条件が変わる場合があります

※有線 LAN を推奨しますが、モバイルについては、Wi-fi や 4G LTE などの高速回線の利用を

お勧めします

※Android、iOS については、一部機種での OS・ブラウザの動作確認を行っていますが、利用環境

によって、正しくご覧できない場合があります

②対面講義（10 月 30 日のみ）

各会場では新型コロナウイルス等の感染症対策として、問診票（指定様式あり）の提出、会場での検温、マスクの着用や消毒等の衛生対策、換気の徹底等を行う予定です。感染拡大防止にご協力をお願いいたします。

< 詳細 >

日程：2021 年 10 月 30 日（土）9:30～19:00

内容：RIFCR™研修

会場：ウインクあいち 12 階 1201 教室

住所：名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38（JR「名古屋駅」より徒歩 5 分程度）

9) 修了要件および証明書・修了証について

64.5 時間の出席状況(下記項目 10)および、修了試験の内容（下記項目 11）を評価し、評価基準を満たした方は、学校教育法に基づく履修証明制度により日本福祉大学から「性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム 2021 履修証明書」を授与するとともに、一般社団法人日本フォレンジック・クヒューマンケアセンター発行の「SANE 修了証」をお渡しします（日本福祉大学による単位認定はありません）。

10) 出席状況について

各講義の遅刻・早退は30分未満とし、それを超える場合は欠席と見なします。2日を超えて欠席する場合には、履修証明書およびSANE修了証は発行されません。欠席が2日未満であり履修証明書およびSANE修了証を希望する場合には、別途、ビデオ視聴やレポート課題などが課せられる予定です（一部、別課題への振替不可の講座もあります）。

11) 修了試験の内容について

各単元での小テストの実施、また、講義全体の中でSANE実践に向けての行動計画（病院拠点型ワンストップ支援センター（OSC）設置に向けたアクションプラン）を立案し、プレゼンテーションを実施します。内容をレポートにまとめ（A4 3~5枚程度）、講義担当教員が評価し、いずれもC評価以上を修めることを修了要件とします（評価区分/A：90点以上、B：80~89点以上、C：70~79点以上、D：70点未満）。

※アクションプランの詳細は受講決定後に配布する「受講の手引き」に記載

12) その他

紛失などにより履修証明書の再発行を希望する場合は、再発行手数料2,000円（税込）が必要となります。

■受講申込みについて

1) 受講資格

主に社会人の方を対象とし、大学入学資格を有する方で、看護職の方

2) 申込方法

下記の書類一式を角型第2号封筒に入れ、郵送してください。

郵送の際は封筒の表面に「出願書類在中」と朱記してください。また封筒の裏面に、申込者の住所・氏名を記載してください。

3) 提出書類

① 受講申込書（所定の書式） 1通

② 最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書の原本 1通（原則発行6ヶ月以内のもの）

③ 看護師（婦）免許証のコピー

④ 通信環境に関するアンケート（回答および提出必須）

※【②について】取寄せに時間がかかりますので、早めの準備をおすすめいたします。

※ 証明書、免許証が旧姓で記載されている場合は、①の申込書の旧姓名欄に必ず記載ください。

4) 書類送付先

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35 日本福祉大学社会福祉総合研修センター内

「履修証明」係 宛

5) 書類受付期間

2021年7月12日(月)～2021年8月19日(木)(当日消印有効)

※これを過ぎた消印のものは受理せず、郵送された願書などは返送しません

6) 選考料：無料

7) 選考方法

申請書類に基づき選考します

(応募者多数の場合、本養成プログラムの受講が業務上必要な方を優先して選考します)

8) 受講者発表

2021年8月27日(金)(予定)に受講決定通知を発送いたします

【お問い合わせ先】

日本福祉大学(事務局：社会福祉総合研修センター)

電話：052-242-3069(平日：10時～17時) / Eメール：ckjimu@ml.n-fukushi.ac.jp

■担当教員・講師紹介

■担当教員



長江 美代子（ながえ みよこ）

日本福祉大学看護学部教授（精神看護学、国際看護学担当）
一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 副会長
精神看護専門看護師（American Nurses Credentialing Center : ANCC 認定）
公認心理師
日本版性暴力対応看護師 SANE-J

名古屋市立大学看護短期大学部看護学科卒業（1991年）後、名古屋第二赤十字病院で1996年12月まで看護師として勤務。1997年8月からThe University of Illinois at Chicago, College of Nursingで看護学修士および博士（Ph.D）を取得した。2005年帰国後は大学で精神看護学を担当するかたわら、女性と子どものヘルプライン MIE とともに、DV 被害女性とその子どもの支援にかかわってきた。暴力被害者の PTSD 回復に取り組むにつれて性暴力被害の深刻さを知り、2016年1月、名古屋第二赤十字病院との協同により「性暴力救援センター日赤なごや なごみ」を立ち上げ、運営にかかわっている。

■主任講師



片岡 笑美子（かたおか えみこ）

一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 会長
日本版性暴力対応看護師 SANE-J
性暴力被害者支援看護職（SANE:Sexual Assault Nurse Examiner）

1976年名古屋第二赤十字病院へ就職。2005年日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント修了、2006年に看護部長、2010年より副院長兼看護部長として2017年まで勤務。2014年性暴力に関する講演を機にワンストップ支援センター設立に向けた活動を開始した。性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム2015を受講し、2016年1月にSANEを活用した病院拠点型の性暴力救援センター日赤なごやなごみ（以下なごみ）を開設した。SANEとして活動しながら多機関多職種連携による性暴力被害者支援体制を整備し、人材育成、性暴力の教育啓蒙活動に取り組んできた。2019年6月一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンターを立ち上げ、全国に病院拠点型ワンストップ支援センター設置拡充に向けて活動している。

■担当講師

登壇日	講師・団体名	肩書
2021 10/2,3	中島 幸子	NPO 法人レジリエンス 代表理事
	西山 さつき	NPO 法人レジリエンス 代表理事
10/9	犬飼 千絵子	犬飼法律事務所 弁護士
	丹羽 咲江	咲江レディースクリニック 院長・産婦人科医
10/30	山田 不二子	認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパン 理事長・医師
	齊藤 美紀	助産師
	今西 洋子	NPO 法人あいち CAP プラス 理事長
11/13	丸山 洋子	NPO 法人つなぐ理事、名古屋市中央児童相談所主査、児童精神科医
	田中 嘉寿子	東京高等検察庁 検察官
11/27	加納 尚美	茨城県立医療大学 保健医療学部看護学科 教授
	坂本 理恵	名古屋第二赤十字病院 医療ソーシャルワーカー
	船山 健二	新潟県立看護大学 講師
	木全 和巳	日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授
12/4	安間 優希	NPO 法人 PROUD LIFE 代表理事
	加藤 直子	医療法人葵鐘会ロイヤルベルクリニック 看護師長・助産師
	山田 浩史	名古屋第二赤十字病院 日赤なごやなごみセンター長・医師
12/18	小笠原 和美	慶応義塾大学 総合政策学部 教授（警察庁長官官房付）
	愛知県警	
	加藤 秀章	名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野 准教授
2022 1/8	笹原 艶子	かけこみ女性センターあいち 専従
	野口 靖之	愛知医科大学医学部 准教授
	奥川 ゆかり	椋山女学園大学看護学部看護学科 准教授
	久保田 由美	名古屋第二赤十字病院 看護師・助産師・SANE
	神尾 正子	名古屋第二赤十字病院 看護師・助産師・SANE
	江口 美智	名古屋第二赤十字病院 看護師・助産師・SANE
	谷内 結花	名古屋第二赤十字病院 看護師・助産師・SANE

※講師都合などで変更になる場合があります

■性暴力被害者支援看護職(SANE)養成プログラム 2021 シラバス

科目名	性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム 2021	単位認定なし
担当教員	長江 美代子（日本福祉大学 看護学部 教授）	
テーマ	暴力・倫理・法にかかわる看護の課題 暴力を経験した小児／思春期／成人の対象に対するケア	
科目の ねらい	<p><キーワード></p> <p>①性暴力被害者 ②全人的・包括的ケア ③クリティカルシンキング ④フォレンジック ⑤地域機関との連携</p> <p><内容の要約></p> <p>DVや性暴力被害者に、全人的・包括的なケアを提供するために必要な基本的知識とクリティカルシンキング能力を習得する。具体的には、フォレンジック看護、性暴力被害者のケアの背景、暴力の構造と性暴力の力学、被害者の反応と危機介入、アドボケイト、緊急医療処置、法医学に基づく臨床科学、法医学的既往の聴取法、地域機関との連携、中長期ケアとフォローアップについて学ぶ。討論、模擬事例、ロールプレイ、視覚的教材、体験学習を活用したスキルトレーニングを含む。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人のライフスパンにおける犯罪や倫理にかかわる課題への対応と実践を看護過程に組み込むことができる。 2. 性暴力に関連する被害の聴取をアドボケイトとして二次被害に配慮し、正確、客観的、簡潔に行うために必要なスキルを習得できる。 3. 被害者のケアに関与する多職種チームの中で、効果的に関わり協力するための基本的な知識を習得できる。 4. 被害者の生物学的証拠・痕跡証拠のニーズに対して、被害者中心のアプローチを採用する看護師の役割を説明できる 	
授業の内容	<p>①オリエンテーション・フォレンジック看護の概要（1コマ）</p> <p>②性暴力救済センター日赤なごやなごみの現状と課題（1コマ）</p> <p>③DVと性暴力（1コマ）</p> <p>④トラウマを抱えた子どもたちへの支援（2コマ）</p> <p>⑤関連法律の基礎、訴訟、法的補償、秘密、SANEに必要な法知識（2コマ）</p> <p>⑥女性への暴力と医療／性教育の重要性について（2コマ）</p> <p>⑦RIFCR™研修（3コマ）</p> <p>⑧生活への影響：アドボケイト、SANEとの連携（1コマ）</p> <p>⑨検察官から見た性犯罪捜査の問題点（2コマ）</p> <p>⑩被害者のケアにおける職業的・倫理的行動（1コマ）</p>	

授業の内容	<p>⑪多職種連携 SART チームにおける地域連携（仮）（1 コマ）</p> <p>⑫女性への暴力の社会的背景と実態（2 コマ）</p> <p>⑬受刑者、高齢者、障害者、言語・コミュニケーションの障壁を持つ対象者の心理社会的課題（1 コマ）</p> <p>⑭支援が行き届かない性暴力被害者の理解（GLBTIQ）（2 コマ）</p> <p>⑮SANE 性教育の実際（1 コマ）</p> <p>⑯男性被害者の理解（1 コマ）</p> <p>⑰警察への届出の意義と留意点（1 コマ）</p> <p>⑱なごやなごみにおける地域連携（1 コマ）</p> <p>⑲医学的証拠採取、記録、性犯罪・DV SANE のフォレンジックアセスメント（2 コマ）</p> <p>⑳医学的証拠採取、記録、法医学的写真撮影（1 コマ）</p> <p>㉑協働、社会資源、相談窓口（1 コマ）</p> <p>㉒性暴力被害者支援で必要とされる性感染症に関する基礎知識（1 コマ）</p> <p>㉓ケアと持続（演習）（1 コマ）</p> <p>㉔病院拠点型における SANE 実践（2 コマ）</p> <p>○アクションプラン発表会、修了試験（※）</p>
時間数	講義：60.0 時間、演習：4.5 時間 計 64.5 時間相当（※修了試験時間含まず）
事前学習の内容学習上の注意	<p>テキストや配布物は講義予定の内容に該当する箇所を事前に読んでおく。</p> <p>演習・講義には、質問・意見・感想を述べるなど、積極的に参加する。</p> <p>学んだ理論を臨地におけるトピックスに適用し実践に生かす視点を持つ。</p>
テキスト	フォレンジック看護（医歯薬出版）
参考文献	講義内で別途指示する
成績評価基準	<p>64.5 時間分の出席および修了試験（※）の成績</p> <p>※具体的には各講義終了後に小テスト（○×形式 10 問など）と同時に、すべての講義終了時に SANE 実践に向けての行動計画（アクションプラン：3～5 枚/A4 程度）を立案し、プレゼンを実施し、その内容を講義担当教員が評価することで修了試験とする。いずれも C 評価以上を修めることを修了要件とする。（評価区分 A：90 点以上 B：80～89 点以上 C：70～79 点以上 D：70 点未満）</p>
その他	<p>日本福祉大学の履修証明書を発行（2021 年度は単位認定なし）および</p> <p>（一社）日本フォレンジックヒューマンケアセンターの SANE 修了証を発行する</p>

授業科目の概要について

学校名:	日本福祉大学
課程名:	性暴力被害者支援看護職(SANE)養成プログラム

要件該当授業時数:	59時間
要件該当授業時数/総授業時数:	91%

分類	科目名	配当年次	授業時数	④企業等	②双方向	①実務家	③実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	①オリエンテーション/フォレンジック看護概要		1.5			○		長江美代子	日本福祉大学看護学部 (実務家教員)
必修	②性暴力救援センター日赤なごやなごみの現状と課題		1.5			○		片岡笑美子	日本フォレンジック ヒューマンケアセンター
必修	③DVと性暴力(SAFER101)		3.5		○	○		中島幸子 西山さつき	NPO法人レジリエンス
必修	④被害者のケアにおける職業的・倫理的行動		1.5			○		長江美代子	日本福祉大学看護学部 (実務家教員)
必修	⑤トラウマを抱えた子どもたちへの支援		6.0		○	○		中島幸子 西山さつき	NPO法人レジリエンス
必修	⑥RIFCR研修(子どもの性虐待の概要)		8.5		○	○		山田不二子 斉藤美紀 今西洋子	NPO法人チャイルドファーストジャパン 助産師 NPO法人あいちCAPプラス
必修	⑦女性への暴力の社会的背景と実態		2.0			○		木全和巳	日本福祉大学社会福祉学部 (実務家教員)
必修	⑧SANE性教育の実態		2.0			○		加藤直子	ロイヤルバルクリニック
必修	⑨女性への暴力と医療/性教育の重要性について		3.0			○		丹羽咲江	咲江レディースクリニック
必修	⑩支援が行き届かない性暴力被害者の理解(GLBTIQ)		3.0			○		安間優希	NPO法人プラウドライフ
必修	⑪検察官から見た性犯罪捜査の問題点		5.0			○		田中嘉寿子	東京高等検察庁
必修	⑫関連法律の基礎:訴訟、法手的補償、秘密 SANEに必要な法知識		3.0			○		犬飼千絵子	犬飼法律事務所
必修	⑬生活への影響:アドボケイト SANEとの連携		1.5			○		丸山洋子	名古屋市中央児童相談所
必修	⑭受刑者、高齢者、障がい者、言語・コミュニケーションの障壁を持つ対象者の心理社会的課題		1.5			○		船山健二	新潟県立看護大学地域生活看護学 領域(実務家教員)
必修	⑮男性被害者の理解		1.5	○		○		山田浩史	名古屋第二赤十字病院
必修	⑯警察への届出の意義と留意点		1.5			○		小笠原和美	慶応義塾大学総合政策学部 (警察庁長官官房付)(実務家教員)
必修	⑯警察への届出の意義と留意点		1.0					捜査一課/ 住民サービス課	愛知県警察本部
必修	⑰多職種連携SARTチーム、なごみにおける地域連携		3.0	○		○		加納尚美 坂本理恵	茨城県立医療大学看護学科 名古屋第二赤十字病院
必修	⑱医学的証拠採取、記録、性暴力・DV、SANEのフォレンジックアセスメント		3.0					加藤秀章	名古屋市立大学大学院
必修	⑱医学的証拠採取、記録、法医学的写真撮影		1.5					加藤秀章	名古屋市立大学大学院
必修	⑳協働、社会資源、相談窓口		1.5			○		笹原艶子	かけこみ女性センターあいち
必修	㉑性暴力被害者支援で必要とされる性感染症に関する基礎知識		1.5			○		野口靖之	愛知医科大学産婦人科学講座 (実務家教員)
必修	㉒ケアと持続		3.5	○	○	○		奥川ゆかり・江口美智・谷内結花・神尾正子・久保田由美	奥川: 相山女学園大学看護学部(実務家教員) 奥川以外: 名古屋第二赤十字病院
必修	㉓病院拠点型におけるSANE実践		1.5			○		片岡笑美子	日本フォレンジック ヒューマンケアセンター
必修	㉓病院拠点型におけるSANE実践		1.5			○		長江美代子	日本福祉大学看護学部 (実務家教員)
合計:	23科目		64.5						時間

全ての科目について記入してください。

*「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。